

野島本泰 (大阪大学非常勤講師)

1. 語彙的接頭辞とは？ このワークショップの目標は？

台湾南島諸語には、語彙的接頭辞 (lexical prefix: 以下 LP と呼ぶ) , すなわち、具体的な語彙の意味を表す接辞が発達している。例(1)のように「再び言う、再び歌う、再び啼く、再び取る」という意味をブヌン語では「再び」を表す語基に「声でする」「取る」という意味をそれぞれ表す2つの接辞を用いて表せる。

- (1) a. **tu-hna** tupa 「再び言う」 b. **tu-hna** ka-huzas 「再び歌う」
 LP(言う)-√再び 言う **LP(言う)-√**再び LP(作る)-√歌
 c. **tu-hna** tu'ia 「再び啼く」 d. **si-hna** siza 「再び取る」
 LP(言う)-√再び 啼く **LP(取る)-√**再び 取る

接辞は「複数の形態素から構成される語において文法的機能を担っている形態素」、語基は「語彙的な内容を表現する形態素」と一般に定義される(長屋 2015)。だがこの定義だと、例(1)から(4)に含まれる tu-, si-のような接辞は「奇妙」に映る。この種の「語彙的」な接辞は、土田(1990), Nojima (1996)以来、研究者の好奇心を刺激し、台湾、オセアニアの言語のものも含め、多くの研究がなされてきた (Tsuchida 2000, Adelaar 2004, Ozanne-Rivierre and Rivierre 2004, Li 2009, Osumi and Tsuji 2009, Chang 2009, Lau 2017)。

今世紀に入り、台湾南島諸語の辞書、文法が相次いで出た(例: Blust 2003, 吳 2013/2019)。諸言語の LP を概観する環境が整ったわけだが、その LP を俯瞰した研究は管見では一つもなされていない。そこでこのワークショップでは、ブヌン語のような、LP の活性が高い言語(豊富な数の接辞を持ち、LP が文法的にも重要な機能を持つ言語)、ブヌン語ほどは活性が高くないパイワン語のような言語、さらにアミ語のような、LP を少ししか持たず、生産性も意味的透明性も低い言語を比べ、台湾南島諸語全体の LP を考する。

このワークショップでは以下を目指す: (1) LP の目録作り。(2) 人類言語の接辞の多様性を適切に認識するための考察。(3) 「北の言語」の派生形態論の対照研究。語彙的接辞の存在は北米モース諸語の研究では古くから知られており、宮岡(1992), 亀井他[編](1996)の「語彙的接尾辞」にも詳細な解説がある。台湾やオセアニアなど「南の言語」の LP を「北の言語」の語彙的接尾辞と比べ、その共通点、相違点を探る。

このワークショップの構成: ブヌン語、パイワン語、アミ語の専門家が、各言語とその周辺の言語の LP の概況を述べ、そのあと台湾南島諸語全体の LP について討論を行う。

2. このワークショップでは、台湾南島諸語の LP を以下の点に着目し、対照する

A. どのような接辞があるか? 意味と形は?

結論を先に述べると、このワークショップの3つの調査により、表1に示す結果が得られる。

表1 どのような意味が LP で表せるか

	削る	縛る	投げる	与える	洗う	着衣	飲む	食う	獲得	除去	作る	発話	所在	行く	なる	臭う	好き	類似	上手	所有	存在	しに来る
ブヌ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	-	-
サア	+	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	??	??	??
シラ	-	-	+	+	-	-	+	+	-	-	+	+	-	+	+	-	-	-	-	-	+	+
パイ	-	-	-	-	+	-	+	+	+	+	+	-	+	+	+	+	-	+	-	+	-	-
クヴ	-	-	-	-	-	+	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	-	-	-	+	-	-
アミ	-	-	-	-	-	+	-	-	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-
セデ	??	??	??	??	??	+	??	??	??	??	??	??	??	+	+	+	+	+	??	+	??	??
アタ	??	??	??	??	??	??	??	+	+	??	+	??	??	+	+	+	??	??	??	+	??	??
タガ	LPを持たない																					

注：言語名を以下の通り略：ブヌン、サアロア、シラヤ、パイワン、クヴァラン、アミ、セデック、アタル、タガログ

B. LP と語基の間にはどのような意味関係があるか？ これも結論を先取りして表 2 に示す。

表 2 LP と語基の間にはどのような意味関係が成立しうるか

	対象	回数	多/少	数量	範囲	レ貼	様態	描写	結果	可能	空語根	願望	場所
ブヌ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	-	+
サア	+	+	+	+	+	??	+	+	+	??	??	??	+
シラ	+	+	+	-	+	-	+	+	-	+	-	+	+
パイ	+	+	+	+	-	+	-	+	-	-	(+)	-	+
クヴ	+	??	??	??	??	+	-	-	??	-	-	-	+
アミ	+	-	+	(+)	(+)	+	-	-	(+)	-	-	-	+
セデ	+	??	??	??	??	+	??	??	??	??	??	??	+
アタ	+	??	??	??	??	+	??	??	??	??	??	??	+
タガ	LP を持たない												

注：空語根とは、意味を持たない語根のこと。語彙的な意味を持つ LP を運ぶ役割しかない。ブヌン語の -'uni はその例。min-'ikul 「尾(ikul)になる」に対し、min-'uni mas utung 「猿(utung)になる」。

C. 接辞に生産性はあるか？生産性の高低を次の 4 つを観察し、判断する。

(a) 付く相手の種類を選ばない、(b) 外来語にも付く、(c) 即興的にも作られる、(d) 句につきうる。

D. LP と、意味的に対応する語根との間に、形式上の一致または類似はあるか？

E. 接頭辞調和（後述）はあるか？

最後に、ブヌン語、サアロア語、シラヤ語など中南部の諸語に見られる LP の活性の高さは地域特徴なのか、それについて考察する。

3. 台湾南島諸語とは？

台湾全土に分布する南島語族 (=オーストロネシア語族) に属する言語 (台湾原住民の総人口 574,106 人 [原住民族委員会による 2020 年の統計])。南島祖語に再構される音韻的対立を残す。祖語に近いと言われる。系統関係は諸説ある。フィリピンやオセアニアに比べ複雑。動詞派生において顕著。その一つが LP。動作とその様態は節連結で、様態を本動詞が、動作そのものを副動詞が表す。

参考文献 Chang, Henry Y. (2009) Adverbial verbs and adverbial compounds in Tsou: A syntactic analysis. *Oceanic Linguistics* 48 (2): 439-476. / 亀井孝・河野六郎・千野栄一 [編] (1996) 『言語学大辞典 術語編』三省堂. / Lau, Seng-Hian. (2017) Spelling out Prefix Concord in Siraya. *University System of Taiwan Working Papers in Linguistics* 9: 100-124. / Li, Chao-Lin. (2009) The syntax of prefix concord in Saaroa: Restructuring and multiple agreement. *Oceanic Linguistics* 48 (1): 172-212. / 宮岡伯人 (1992) 「環北太平洋の言語」宮岡伯人 [編] 『北の言語：類型と歴史』3-65 頁, 三省堂. / 長屋尚典 (2015) 「接辞」斎藤純男・田口善久・西村義樹 [編] 『明解言語学辞典』133-134 頁, 三省堂. / Nojima, Motoyasu (1996) Lexical prefixes of Bunun verbs. *Gengo Kenkyu* 110: 1-27. / Osumi, Midori and Emiko Tsuji. (2009) Morpho-semantic features of Tinrin and Neku verbs and event-classifying verbal prefixes. *Tokyo University Linguistic Papers, The University of Tokyo* 28:173-195. / Ozanne-Rivierre, Françoise, and Jean-Claude Rivierre. (2004) Verbal compounds and lexical prefixes in the languages of New Caledonia. In *Complex predicates in Oceanic languages: Studies in the dynamics of binding and boundedness*, ed. by Isabelle Brill and Françoise Ozanne-Rivierre, 347-72. Berlin: Mouton de Gruyter. / Tsuchida, Shigeru. (1990) Classificatory prefixes of Tsou verbs. *Tokyo University Linguistic Papers* '89: 17-52. / Tsuchida, Shigeru. (2000) Lexical prefixes and prefix harmony in Siraya. *Grammatical analysis: Morphology, syntax, and semantics*, ed. by Videia P. De Guzman and Byron Bender, 109-28. Honolulu: University of Hawai'i Press. / 吳明義 [編] (2013/2019) 『阿美族語辭典』(初版/2 版) 台北: 南天書局.